

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・店舗を食品スーパーに改装し、来客数が前年比23%ほど伸びている。特に生肉の売上が良い。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・当月は雨天日が多かったことと、雨天日がポイントサービスデーに重なったことで来客数の減少が大きかった。また、改装店舗の休業による減収や、中国産冷凍食品問題による冷凍食品の大幅減収等があった。一方、生鮮部門を中心とした客単価アップがあり、前年の売上は達成しそうである。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・数か月ぶりに前年並みとなった。3か月前と比べても今月はまずまずであったが、景気が良くなっているわけではない。この春はトレンド色がかかり打ち出されており、客は春の陽気につられて春物を探しに来てはいるが、客単価は相変わらず低くとどまっている。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	販売量の動き	・前年の販売量に比べ、およそ110%の伸びとなっている。やや客足が多くなり、販売量も増加傾向にある。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・当月は結婚式もあり、来客数も前年より大幅に増やすことができた。
		通信会社（業務担当）	来客数の動き	・例年以上に卒業生を含めた10～20代の来店客数が多くなった。一緒に来店した付き添いの方のついで買いも増え、販売は好調であった。
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・客単価が、前年より300～400円くらい上がった。
	音楽教室	お客様の様子	・業績のいい会社が増えつつある。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数はその月によって違うが、なかなか購入に至らないという傾向は変わらない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年に比べ気温が低く、高齢者の客が多い当商店街では、来客数の減少が目立っている。売上も減少した。
		一般小売店【茶】（販売・事務）	お客様の様子	・当店ではまだ値上げはしていないが、スーパーでの数々の商品値上げで消費者の警戒感が強まり、今までより購入金額を下げる客も見受けられる。当店でも徐々に商品単価の値上げを考えていたが、このままだと現状維持していた方が良いのではないかと考えさせられる。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・営業が終了する店舗にいるのだが、客は多い。売上も順調なのだが、展開している商品はさほど特別な物ではない。客は商品を買うきっかけがあれば商品を購入してくださるが、店舗が終了するような特別なことがないと買ってくれない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は全店では前年割れであった。客の関心の高い物産催事等への来店は多く、売上も伸びている。反面、バーゲン催事への関心が低く、売上は前年割れとなっている。売上に占めるバーゲンのシェアも低下しており、客の慎重な買物姿勢が続いている。
		百貨店（企画）	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。平均客単価も減少傾向が続いている。
スーパー（店長）		販売量の動き	・卸物価の上昇による小売店頭価格への転嫁で、袋ラーメン等、売上が大幅に落ち込んだものもあるが、価格変更はおおむね客に受け入れられている。今のところ、店舗での大きな景況感の変化は感じられない。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・原油や原材料の高騰に伴う物価上昇により、客の商品買上の動向が以前より慎重になっている。		
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年と変わらない。食品は単価上昇により若干売上が伸びているが、家電・高額時計などは動きが鈍くなり、寝具は買い回り傾向がみられる。		
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食品の売上が好調であるが、これは低価格政策と、4月からの商品の値上がりに対する駆け込み需要であり、一過性のものである。		

	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・販売量に大きな変動はない。値上げした商品は販売量が減少しているが、中国産食品の問題により国産品が売れており、売上高としては前年実績を確保している。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・3月1日からたばこ自販機用のタスポカード導入により、コンビニに追い風が吹き、来客数、客単価とも大幅に伸び、売上が上がった。
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・売上をみると、量販店が前年比112.8%、コンビニが同96.5%、ローカルスーパーが同103.9%となり、合計で同101.4%であった。数字的には前年を上回っているが、価格改定分を含めると、ほぼ横ばいである。
	コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・年度末なので公共料金の支払いは増えているが、買い控えがみられ、ついで買いが以前に比べて少なくなった。客単価の低下要因となっている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・売上はやや良いが、資金繰りが非常に厳しい。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・販売量は前年とほとんど変わらず、また3か月前に比べても大きな変動はない。
	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・予算比、前年比共に前年を上回った。特に今期の一般宴会は創業20年以来、最高の売上を確保した。
	都市型ホテル（総支配人）	単価の動き	・同型店舗の新規オープンが続き、供給過多と噂されているためか、価格競争が続いている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシー業は、昼間は人の動きが悪く、夜は少しは動きがあるが鈍い。それと共に、代行運転が増えている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・同業の会社が大手の会社を買収された。また夜遅くまで仕事をしていても、なかなか思うように売上が上がらない。夜の飲食街も客足がぱったりと途絶えている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・春先の行楽シーズンに入ったが、宿泊予約の動きは鈍い。ただ、地元の卒業式、謝恩会の売上でプラスとなっている。ゴルフは週末を主体に横ばいとなった。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・NHK大河ドラマ関連の観光施設は前年比30%近く来場者数が伸びている。ただし、特殊事情によるものであり、これがなければ例年並みである。
	ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・この3か月での来場者数の傾向も、客との会話からも、目立った変化はみられなかった。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・今年度の前半は来場者数が減少傾向にあったものの、ここ数か月は安定している。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・販売量に期待していたが、全く駄目であった。春に向けて売上増の期待も持てず、市場が非常に冷えてきているのを感じる。景気回復が待たれる。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・先月と問い合わせ件数が変わらない。物件もあまり動いていない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街の中で閉店がここ1、2か月出てきた。景気は悪い。
	商店街（代表者）	単価の動き	・3月に入り、天候で来客数・買上客数が左右されている。下旬になって暖かい日が続く、来客数が前年に近い数になっているが、客単価が落ちており、売上が前年比8%程度の落ち込みとなる。
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・客は安い物しか買わなくなってきている。さまざまなものが値上がりすれば仕方ないのかもしれないが、利益が出ない。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・先行き不透明である。消費者は、政局の問題、商品の値上げ、原油高の問題等から将来不安が増しており、消費行動に積極的になっていない。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額品、単価の高いものの販売量が減っている。客は、必要なものは低単価のもので済ませている。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・物価が上がり、客の購入単価が下がっている。来客数も他店との競争で減少しており、なかなか売上が増加しない。
	百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・前年10月に郊外大型商業施設が開業して以来、来客数は前年比減が続いている。
	百貨店（業務担当）	販売量の動き	・原油高を始め、商品価格の上昇が始まり、さらに円高、株安の報道も消費者心理にマイナスに作用している。客も余分な買物には特に気を使っているし、衝動買いが少なくなっている。

百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・付加価値感、限定品、機能性、環境、安全、安心、美容、健康等に関連する商品については良い兆しがあるものの、全体の売上規模は縮小している。来客数や販売量も、3月の強化策による増加を織り込んでいたものの、前年実績との戦いに終始している。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・商品の値上がりとともに客の買上点数が減っている。単価自体は高まっているものの、来客数の減少から前年比約98%で推移している。	
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・最近、郊外のショッピングセンターで来客数に若干の減少がみられる。ガソリン価格の高騰が影響しているとみられ、全体的にも消費購買力が若干鈍っている。	
衣料品専門店	販売量の動き	・客に、欲しいものがあっても我慢するという買い控え傾向がみられる。	
家電量販店（店長）	来客数の動き	・ここ数か月、来客数が前年を下回っている。	
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は相変わらず少ないが、今月はブライダル関連等の動きがあり、金額的には前年並みとなりそうである。学習機の売上は終盤に入ったが、年々厳しい。	
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は高止まりした状態である。消費者はガソリン暫定税率期限切れの様態眺めの感があり、販売が月末にかけて減少している。	
その他専門店 〔書籍〕（代表）	来客数の動き	・一般的な雑誌などの売行きは良くない。美容院等の購入も減っている。	
高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・例年に比べ送別会が減少している。単価の低い居酒屋に客が流れている。	
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・月末は送別会等で多かったが、前半まで来客数の伸びが悪く、全体的に悪かった。	
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・県外客はNHK大河ドラマの影響で少し多くなっているが、地元客は財布のひもが固くなっており、値段に敏感になっている。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3月は歓送迎会シーズンだが、あまり来客数が多くない。	
スナック（経営者）	単価の動き	・相変わらず来客数が伸びず、今月は更に客単価の低下が目立つ。客は懐具合を気にしている。	
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・年度末で大会や会議等の行事が他地区で開催されるため、来客数が落ち込んでいる。またインパウンドの仕入単価上昇への敏感な反応がみられ、来客数の動きが鈍くなっている。	
旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの需要が伸び悩んでいる。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・2月をピークに予約数は減少している。海外旅行は燃油サーチャージ上昇の影響で低迷しているが、高単価の国内日帰り旅行は人気がある。	
タクシー運転手	お客様の様子	・今年は送迎会が例年に比べて少ない。定年延長の影響もある。	
タクシー運転手	お客様の様子	・食料品や日用雑貨が微妙に値上がりしているため、タクシーのようなサービス業にお金が回ってこない。景気は悪くなっている。	
通信会社（総務担当）	お客様の様子	・この2～3か月当社事業への加入者数が鈍化しており、事業計画達成も難しい状況である。また、加入者の視聴料の未払いも増加しており、景気の悪さを物語っている。	
美容室（店長）	お客様の様子	・卒業、入学の時期であるため例年なら多少売上が伸びるが、変化はない。周りに聞いても景気が悪くなっているという話をよく聞く。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・とにかく来客数が少ない。販売戦略を立て、在庫を揃えたところで、客は商店街を避けており、効果はない。目先のガソリン代や卒業、入学等が優先のようである。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・客の買い控えムードは続行中であり、花冷えの中、商店街から客が消えている。

		衣料品専門店 (総務担当)	お客様の様子	・ミセス、ヤング婦人服の売上が前年比4%減となっているほか、メンズ衣料品も同6%減である。特に宝石、貴金属、ブランド時計が同10%以上の大幅減となっており、客の買い意欲が感じられない。割引セールを実施しても客足が以前ほど伸びていない。売る側も打つ手が限られており、客のニーズが見えない。
		その他専門店 [書籍](店長)	販売量の動き	・景気後退の雰囲気がいましばらく続き、国民は生活防衛に走り出したようで生活必需品以外は買わなくなっている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・異動や送別会等で居酒屋向けは順調な動きである。スーパー等も、行楽シーズンを前に新しいメニュー提案を求められている。
		その他サービス [物品リース](従業員)	受注量や販売量の動き	・厳しい契約、受注環境には変わりはないが、3か月前に比べ引き合い件数が若干上向き傾向にあるほか、契約額も若干増加傾向にある。
	変わらない	農林水産業(従業員)	受注価格や販売価格の動き	・餌、包装資材が非常に高騰しているが、幸いにもプロイラーの価格も今までにない価格で推移している。
		繊維工業(営業担当)	競争相手の様子	・同業者の中で、既製品を縫っているところが暇でどうしようもないという。さらに、オーダー品の工場はもっと悪いようだ。
		輸送用機械器具 製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注の変動はあるが、平均すると仕事量は変わらない。
		通信業(経理担当)	それ以外	・情報処理業界は、ある程度の情報化投資は活発であるため、どちらかという上向きである。ただし、他の業種では景気の上昇要因が見当たらず、むしろ悪化する要因があふれている。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・中小企業の経営者は、借入れをしてまで設備投資を行うというマインドが感じられない。全体的に貸出金は伸びていない。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注は少しずつ伸びているが、単価はそれほど上がっていない。
	やや悪く なっている	食料品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原材料費の高騰や、中国品の輸入ストップによる影響がみられる。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・製造業を取り巻く環境は全国的に悪くなっている。特に電子部品金型関係は悪いという状況が出ており、精密機械部品、金型部品とも全般的に受注量が大きく減少している。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・年度末のため手持ち工事が完成し、工事高は減少していく。現在は新築工事の受注がなく、小規模なりフォーム工事しかない。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・原材料価格の上昇、円高の進行などが、企業業績を圧迫している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先は口をそろえて厳しいと言う。原油高等、いろいろなコストが上がってきている。また、熊本では知事選の影響で飲食、タクシーがかなり落ち込んでいる。
悪く なっている	家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・建築確認申請の遅れがまだ続いており、予定していた建築工期が伸びたため、現場の職人がだぶついている。また、原材料の高騰もいまだに続き、原価上昇をすぐに価格に転嫁できず、利益が薄くなっている。	
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が全くない。時期的な要因もあるが、かなり厳しい状況である。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・大企業は、とにかく自分の企業の利益をとれば良いという姿勢が表面化し、最近では発展途上国を下回る単価で発注の要請が来るなど、大変厳しい状況である。円高、資材高、燃料高の影響も大きい。	
	輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・3月は年度末決算でかなり荷動きが良くなるはずであるが、1、2月と変わらないくらい悪い。物を作っても売れない状態が続いており、異常な状態である。	
	金融業	取引先の様子	・中小企業の破綻がみられる。原価の上昇、建築確認申請の遅延などが影響している。製造業は円高への対応が厳しい。株安の心理的な影響による消費の停滞もある。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・原料の麦の値上げにより、価格が上昇傾向にある。	

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度末や新年度に向けて求人が多くなっている。業種によっては、人員削減があったところもあるが、全体的には問い合わせが多かった。
	変わらない	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・企業の採用活動に対する、C P A (Cost Per Action : いくら投下して何人募集してきたか) に対する意識が年々厳しくなっているのを実感する。企業間競争も激しくなっている。
		学校 [大学] (就職担当者)	求人数の動き	・求人・求職活動が本格化しているが、求人意欲に大きな変動はない。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作 会社 (編集者)	求人数の動き	・例年3月期は求人が活発になるが、今年は求人件数が伸び悩んでいる。
		新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・原料、容器等の値上げが、広告費の削減に及んでいる。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・2月の新規求人は1月と比較して若干増加したものの、医療福祉、飲食店、宿泊業を除く各業種で減少し、前年比23%減となった。7か月連続の減少である。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・3か月前と比べ、有効求人倍率が0.05ポイント下がり低迷している。特に従業員30人未満の事業所からの求人が減少している。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・県内の求人状況は、求職者が若干減っているが、求人の方が大きく、ここ2か月ほど求人倍率が1倍を切っている。全国平均も下回っており、若干下向きの状況である。
		民間職業紹介機 関 (社員)	求人数の動き	・販売職の求人は増加傾向にあるが、事務派遣の依頼は前年比10%程度減少している。また、事務派遣スタッフの終了にともなう後任依頼案件も減少している。年間を通して、人材紹介案件は前年度から大幅な増加を示したが、年度末を控え、現在は落ちついていく。
		学校 [専門学校] (就職担当)	周辺企業の様子	・一部の建設業で、新規物件減少に伴う求人件数の鈍化が見受けられる。
	悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・例年であれば一番活況な時期にもかかわらず、採用の動きが鈍い。このまま停滞すると、雇用情勢はかなり厳しい。
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新年度より開始する派遣が少ない。マスメディアでは正社員採用が増えているというが、周辺企業では例年に比べ採用を増やしたとも聞かない。反対に、事業所閉鎖・統合などが行われており、雇用市場は縮小している。
		民間職業紹介機 関 (支店長)	求人数の動き	・求人数が前年割れし、新年度の需要増加時期にもかかわらず、上昇する材料が見当たらない。